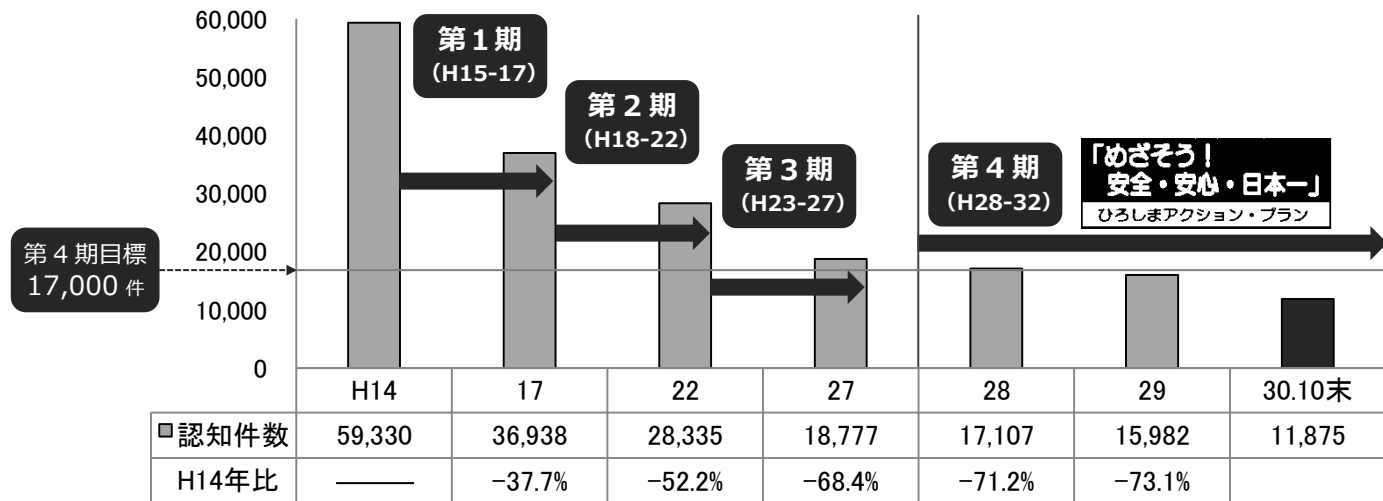


広島県内における犯罪情勢（平成30年10月末現在）

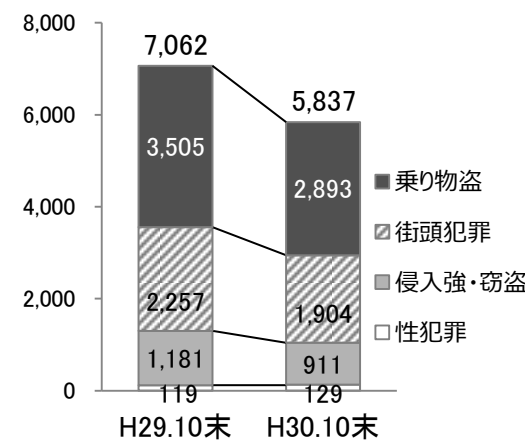
1 刑法犯認知件数（目標：年間17,000件以下）



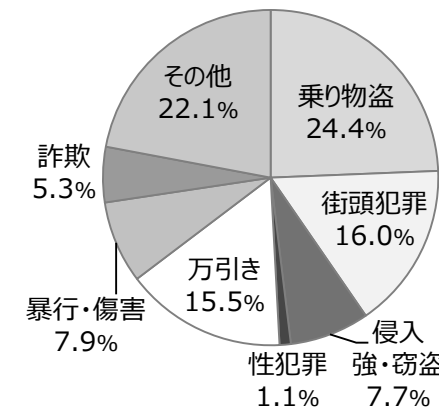
刑法犯認知件数は平成15年以降、アクション・プランに掲げた数値目標を達成しながら減少し続けています。昨年中は平成14年（運動開始前年）比で73.1%減少、第4期の目標（1,7000件以下）を3年前倒しで達成し、本年も10月末現在、前年同期比で1,634件減少（減少率-12.1%）しています。

2 身近な犯罪の認知件数（目標：年間8,500件以下）

区分	H14	H29	増減率	H30.10末
身近な犯罪	43,304	8,211	-81.0%	5,837
乗り物盗	16,637	4,077	-75.5%	2,893
自動車盗	422	43	-89.8%	23
オートバイ盗	5,409	293	-94.6%	136
自転車盗	10,806	3,741	-65.4%	2,734
街頭犯罪	18,327	2,618	-85.7%	1,904
路上強盗	30	3	-90.0%	5
ひったくり	796	16	-98.0%	17
恐喝	445	50	-88.8%	27
車上ねらい	5,244	650	-87.6%	412
自動販売機ねらい	6,068	81	-98.7%	64
器物損壊等	5,744	1,818	-68.3%	1,379
侵入強・窃盗	7,984	1,374	-82.8%	911
侵入強盗	46	11	-76.1%	11
侵入窃盗	7,139	1,044	-85.4%	642
住居侵入	799	319	-60.1%	258
性犯罪	356	142	-60.1%	129
強姦性交等	64	18	-71.9%	25
強制わいせつ	292	124	-57.5%	104

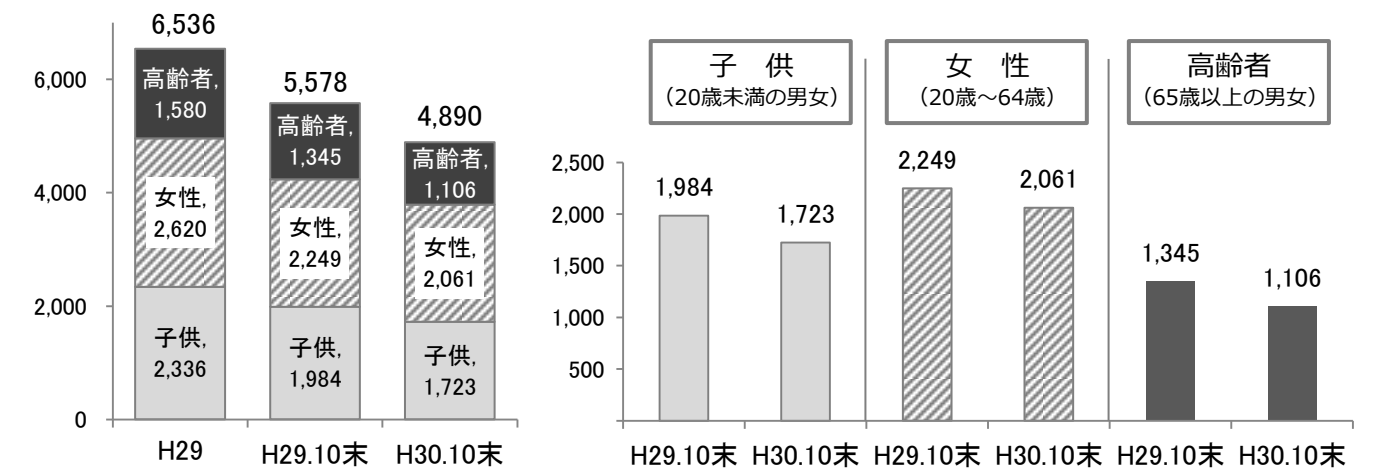


刑法犯認知件数の内訳（H30.10月末）



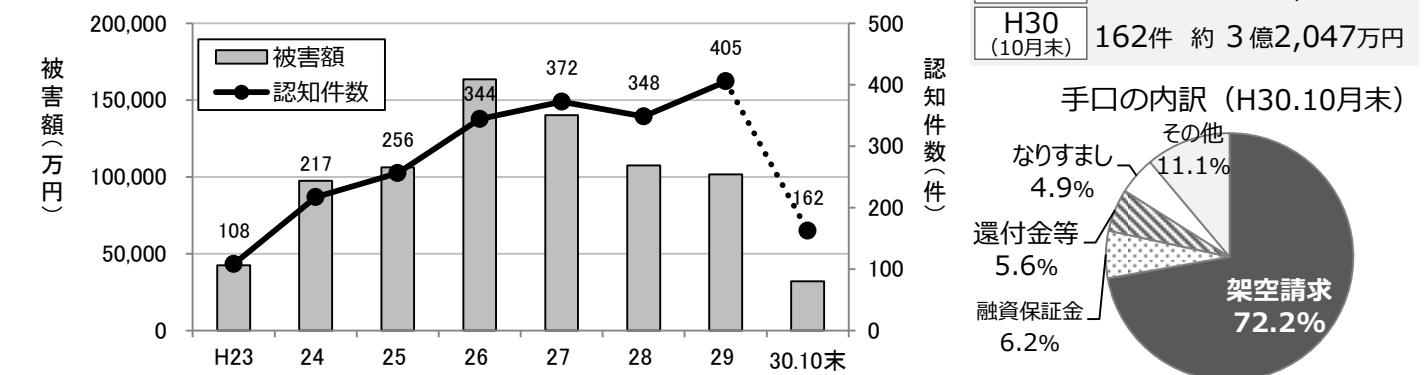
運動当初から減少に向けて取り組んできた「身近な犯罪」は、昨年は平成14年比で81.0%減少し、第4期の目標（8,500件以下）を達成しました。本年も10月末現在、前年同期比で1,225件減少（減少率-17.3%）していますが、性犯罪については10件増加しています。

3 子供・女性・高齢者が被害者となる刑法犯認知件数（目標：年間7,000件以下）



昨年は、子供・女性・高齢者いずれの被害も前年比で減少し、第4期の目標（7,000件以下）を2年連続で達成しました。本年も10月末現在、高齢者の詐欺被害を中心に減少傾向が続いていますが、女性が被害者となる暴行・傷害等は前年同期比で48件増加しています。

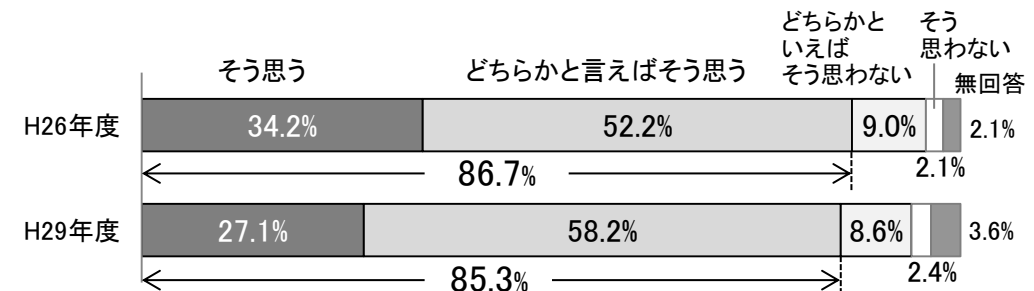
4 特殊詐欺の被害状況（目標：年間被害総額5億円以下）



特殊詐欺被害額は平成27年から減少傾向にあります。昨年は約10億1,592万円、5年連続で10億円を突破し、認知件数は増加に転じました。本年は10月末現在、被害額・認知件数ともに前年同期比で50%以上減少しています。なお、手口別では「架空請求詐欺」が全体の7割以上を占めています。

5 体感治安（目標：治安良好と感じる県民の割合90%以上）

Q 現在、お住まいの地域は、治安が良く、安全で安心して暮らせる地域だと思いますか。



昨年度の県政世論調査の結果では、居住地の体感治安について肯定的な回答は85.3%と前回調査から1.4ポイント減少しました。昨年度の調査から18・19歳が調査対象に新たに加わり、この世代の肯定率が67.6%と全ての世代の中で最も低かったことが影響しているものと考えられます。